

家の光ご担当者様、営農・農政ご担当者様

日ごろより、本会事業にお取り組みいただき、まことにありがとうございます。
『地上』2021年12月号企画のご案内を送付させていただきます。ぜひとも普及活用させていただきますようお願い申し上げます。



12月号の ご案内

J A 青年組織、
J A 役職員の学習研修会に
『地上』の活用を！

定価（税込）	普通月号	618円
	付録月号	680円
	（4・11月号）	



特集

「担い手」を増やす 後継者と次世代人材の育成に向けて

2025年には団塊の世代が75歳を超え、大量離農時代のピークになることが予測されています。そんななか、国などによる新規就農者支援が実施されてきましたが、16年以降、減少しています。農林水産省は就農準備から経営の確立まで、ステージに合わせた支援を行う方向ですが、J A 青年組織やJ A も担い手確保のために、さまざまな方向から取り組みを行うことが必要です。担い手確保の方策について考えます。



不定期連載

脱炭素化への道

8月号で掲載した特集「農山村の脱炭素化の潮流」では、農業が脱炭素化に向かっていく現実とこれからについて伝えましたが、12月号からは不定期連載で、「エネルギー」「マテリアル（素材）」「食料」の生産・消費地としての農業・農村という観点から、一つの地域、または一つの団体や企業等の取り組みについて事例を紹介します。

脱炭素化
への
道



現場発! 盟You伝

千葉県 JAいちかわ
船橋地区青年部

気軽にとりたての農産物を味わってもらいたいとの思いで、盟友たちが中心になって続けるインショップ型の農産物直売。毎日の出荷を支えるのは青年部のきずなど、消費者との交流だった。

○編集内容に関するお問い合わせは地上編集部へ

Tel 03-3266-9002 Fax 03-3266-9047

E-mail chi.jo.goodearth@mx1.alpha-web.ne.jp

○普及に関するお問い合わせは普及企画部へ

Tel 03-3266-9035 Fax 03-3266-9049

E-mail fukyu02@ienohikari.or.jp

※タイトルや内容は変わることがあります。

10月22日(金)までに
JAの「家の光」担当部署に
お申込みください



シリーズ

農業を取り巻くリスクを低減① 防災・減災 編



農業は、自然災害や鳥獣被害、農作業事故、自身の健康など、営農の障害となる“リスク”にさらされています。それらのリスクは適切に対策することで減らせるものもあります。そこで、「農業を取り巻くリスクを低減」をテーマに不定期でシリーズ化。1回めは「防災・減災」の観点から、「農業版BCP」などの提案も含めて、リスク低減の方法をお手伝いします。2回めは2月号で「農作業事故」をテーマに解説します。

* *

1回めについては、近年の激甚化・頻発化する台風、大雨、などの災害による農業への被害の現状、予測を含む気候変動の影響を紹介し、防災意識を喚起するとともに、農業共済や収入保険、「農業版BCP」などについても触れます。被災した場合の復旧に要する国からの支援などについてもまとめます。

月イチ！『地上』ウェビナーも開催中！！

連載企画の筆者を招き、誌面をテキストにウェブ会議サービス「Zoom」を利用して、講義や意見交換を行います。テキストとなる企画は、「佐川友彦の農業経営プチ改善」と「小林国一の協同組合LABO」です。

農業経営やJA青年組織活動などに役立てませんか？開催日時は『地上』とフェイスブックでご案内します。

「GOOD EARTH COLLEGE」と題したオンラインの公開講座も月に一度開催中！ぜひご参加ください！



詳しくはコチラ

参加費無料

定員50人
(キーワード
入力者優先)

学びが人・組織を強くする

「地上」がその一翼を担います!

- パターンA** 個人学習に加え、アーリーワークという機会を活用し、仲間の考えも共有しているため、一人で学習するよりも、高い学習効果があるでしょう。
- パターンB** 別の価値観を持つ人とふれあう機会までは作れていませんが、地域のみなさんと課題を共有して、未来に向かうための学習方法になっています。
- パターンC** さらに「地上」が提供する学習の場のフル活用です。個人での学習と集団での学習、さらには別の価値観を持つ人との学習ができるため、一人の農業者として最強の学習方法です。
- パターンD** 青年組織に属していない人や、青年組織で学習の機会がない人には最適な学習方法です。もし、青年組織に所属していて、このパターンになる人は、学習の機会創出のために、青年組織に働きかけましょう。地域の仲間との学習は、とても大切です。



GOOD EARTH

学習活動の勧め

「地上」を活用した継続的な学習のイメージ

「地上」が書く
スタート

1 個人で

インプットする

届いた「地上」を手に、時々々の農業・農政、地域、JAを取り巻く課題やJA青年組織の優良事例を「読んで学ぶ」。さらに「さくっと話し合おう」の問いを自分自身で考えてみましょう

「さくっと・じっくり話し合おう」は、毎号96ページの目次の下欄に一覧があります



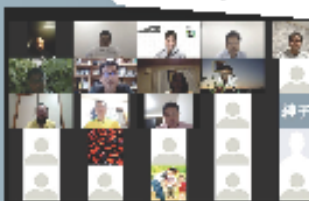
パターンC,D

4 個人で仲間と共に

ウェビナーに参加する

仲間同士の話し合いもたいせつですが、違う地域・違う作目の農家や別の職業、幅広い世代が集まる「月イチ」「地上」ウェビナーなどのオンライン学習会に参加すると、「地上」に書かれていることを超えた、新たな気づきやさまざまな情報を得られます

パターンD



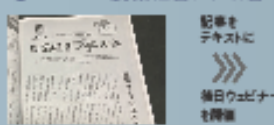
記事や「地上」をテキストに記事の10の情報を整理し、その後、質疑応答や意見を交換する。単体組織、支部組織での参加も大歓迎

●事業継続24時
みなで世代交代の働きしょうも不定期で開催します!

●小林園之の協同組合LABO



●佐川友彦の農業経営プチ改善



●GOOD EARTH COLLEGE (テーマ、講師は毎月変わります)



【さくっとあそび】 9月号は17, 25, 29, 31, 35, 39ページに記事があります



POINT

「さくっと話し合おう」の活用方法

「じっくり話し合おう」の活用方法

パターンA, B, C

会場の雰囲気

2 仲間と共に

アーリーワークする

JA青年組織の単位組織や支部の単位、近くの仲間などと共に、1で興味を持ったテーマや課題について自分が思っていることを発言し、みんなの考えを聞き、共有しましょう。「取扱説明書」(96ページ)の準備編・初級編が参考になります。自分の思いを言葉に置き換えることができます



学習会・研修会で
じっくり話し合おうとは

パターンB

3 仲間と共に

グループワークをする

2で出てきた課題や疑問を解決させるため、議論を深める場がグループワークです。「取扱説明書」の中級編や「別冊付録」のワークシートを活用して、手順に沿って話し合ってみましょう。話し合いのタネは、「じっくり話し合おう」から選びましょう!



「地上」11月号別冊付録は、農業・農政に関わる10のキーワードから課題と解決策を考えることができるシート付き



「地上」は2022年5月号で創刊75周年を迎えます。よりニーズを捉えた雑誌作り、企画作りのため、読者アンケートを募集しています。ご協力いただいた方の中から抽選で50人に1,000円分の図書カードを差しあげます。10月1日から2022年3月31日まで受け付けます。詳細は、11~4月号の35ページをご覧ください。

